

関常幸議会報告

第 62 号
2023. 1

発行責任者
南魚沼市議会議員 関 常幸
南魚沼市浦佐 2015 番地
TEL 025-777-2245



寒中お見舞いもうしあげます

初 夢 !

★ 次は一「北里 国際 浦佐駅」のアナウンスに、学生・先生、企業人と駅構内は人人人・・・北里大学保健衛生専門学院は大学に、国際大学にも学部ができる。大和地区の

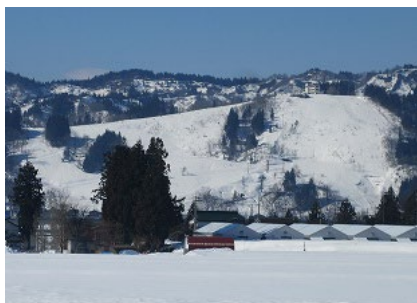
小学校（特認校は除く）は総合し、新たにグローバルハイスクールが開校する。生徒は外国籍、市県外、市内と各三分の一位。只見線、ほくほく線は浦佐駅が発着。

★ 浦佐駅毘沙門口は、毘沙門様に似合った街なみとなり、休日の毘沙門通りは参拝客で一杯。新装なった「裸押合毘沙門多聞会館」は道の駅となる。



旧 K C K 跡地（浦佐中学校跡）に、大和病院が移転し、浦佐は、医療・福祉・健康・学び・遊びの「歴史と文化」あふれる街に。

旧浦佐スキー場跡は、芝桜、葡萄、ブルーベリーが植栽される。滑り台、ミニゴルフ、テニス、多目的広場、キャンプ場やレストラン、ホテル等が建ち「浦佐スキー場西山公園」として復活。



★ 日本の食料自給率 38% が、アメリカ・フランスと同じく 100% 以上に。原子力・火力発電から、南魚沼市が開発した「雪」による発電は、日本国を救う。食糧の増産と雪冷熱から新たな産業が生まれ雇用が創出される。

★ 憲法改正の国民投票は、80% 以上の賛成で自衛隊が明記される。翌年、中国、ロシア、北朝鮮は日本と平和条約を結ぶ。

※北里大学保健衛生専門学院は、正夢となり、令和 6 年 4 月を目途に北里大学の新たな 9 番目の学部が開設。

名称は健康科学部（4 年制 1 学年看護学科 80 人、医療検査学科 80 人）



12月定例議会 (12月5日～12月16日)

議会初日 市長所信表明



- ・新型コロナウイルスの感染が児童・園児に拡大しており、県から「医療非常事態宣言」が発令されれば市も連携する。
- ・多方面にわたる知見を有し、中央との繋がりのある有識者の方を、特別顧問として新年度から登用したい。
- ・健診施設（健友館）の基本設計4000万円を補正予算に計上
- ・城内診療所を令和5年4月1日から市民病院の付属診療所としてスタート。
- ・医師確保対策として、北里大学に1名の「南魚沼市の地域枠」が決まる。（地域枠・修学資金貸与制度）
- ・市民病院、経営改善により中間決算として過去最高の黒字。
- ・民生委員の一斉改選が、再任77名、新任65名が厚生労働大臣から委嘱。
- ・学区再編検討委員会が設置。
- ・コミュニティーホール「さわらび」の舞台吊物装置更新工事。
- ・「雪国魚沼ゴールデンサイクルルート」も魅力を全国に発信。
- ・「新ごみ処理施設検討委員会」を新たに設置。
- ・地域おこし協力隊員11月1日付で委嘱。浦佐地域づくり協議会を拠点に活動。
- ・ふるさと納税額が県内1位となったことで、県内や他県からの注目度高まる。

第76号議案 一般会計補正予算に修正動議が！

健診施設（健友館）建設基本設計4千万円に

議会初日

今議会の最大案件である「健友館」の移転新築に向けた予算。

医師の超過勤務等で

労働基準監督署から指導を受けており。早期に解消をとという事で9月議会に提案という事であったが、より議論を深めるといいう事で今議会になる。

（目的は）

① 労働環境の改善

市民病院から医師等が年間約300回の応援

② 住民サービスの不均

衡の是正

施設を今の倍にし、住民健診が一日で終わる

③ 先進的な取り組みで

医師の確保を

修正動議（4千万円を削除）を提出した主な理由は、議論が不十分（過大な施設）

人生百年時代に対応し予防と介護予防に注力する施設で原案は可決。

議会最終日（主な議案）

・ 社会厚生委員長より、介護保険制度と高齢基礎年金の改善を求める両請願は賛成少数で不採択の報告。

・ 城内診療所条例の廃止が可決。市民病院の付属病院に。

・ 令和元年12月に教育委員会教育長に就任した岡村教育長再任。須藤教育委員会委員も再任。

★小・中学校学区再編検討委員会設置

平成19年7月から11回の審議を行い、平成20年11月に学区再編の答申を行う。その時の対象校は15校で統合等が進んだ。

現在・2022年度の南魚沼市内小学校児童数は、2728人で30年後・2055年度には、児童数は半減する。

昨年9月2日開催の総務文教委員会に「小・中学校学区再編検討委員会設置要綱」を示す。

委員は、議員3、地域づくり協議会3、小中学校保護者6、小中学校長6、公募2の20人。第1回検討委員会が昨年10月31日に開催される。委員長に塩川議員、副委員長に六日町小学校田村校長先生が選任される。4年度に4回、5年度に4回審議。今年の秋に答申する。

大和地区から小澤議員を選任。校舎の建築年数は赤石が37年、三用39、大崎51、浦佐56、藪神57年。大和中は54年。後山小は28年。

児童数、校舎の築年数から、赤石小と三用小の統合だけでは・・・？

- ① 赤石小、三用小
- ② 五日町小、大巻小～おおまき小に
- ③ 五十沢小、西五十沢小～五十沢小に
- ④ 第1上田小、第2上田小～上田小に
- ⑤ 石打小、上関小～石打小に
- ⑥ 後山小～特認校に
- ⑦ 栃窪小～特認校に
- ⑧ 城内中、大巻中、五十沢中～八海中に

大和地区

現在の児童数	30年後
・三用 70人	34人
・赤石 73	35
・浦佐 256	123
・大崎 141	68
・後山 13	6
・藪神 138	66
計 691人	332人

主な活動日誌 (11月～1月)



11.4 県市議会議員研修会
田村長野県立大学教授 (長岡市アオーレ)



11.6 押合大祭「ねこかき」
(毘沙門堂境内)



11.9 江戸川区議員と交流会 (議場)



11.14 第37回 雪シンポジウム
小泉進次郎代議員(市民会館)



11.15 中越地区市議会研修
国境無き医師団 門馬医師



11.17 NPO 湯沢砂防現地研修会



12.19 孫大剛中国総領事
離任レセプション (新潟市)



1.1 二年参り 高鳥代議員
(浦佐毘沙門堂)



1.9 浦佐地区賽の神まつり

●自民党大和支部役員会（12月11日）

今年、5月29日の県知事選挙、そして、7月10日の参議院選挙、党员・党友の皆さんが120%以上の力を出していただいたことが勝利となったと私から挨拶する。

衆議院の区割りが新5区となり、役員会で初めて高鳥代議士が挨拶する。

第55回定期大会を2月5日（日）に開催、今年の幹事は東分会と決める。



12.11 高鳥代議士あいさつ

●毘沙門堂山門「天井画修復記念事業実行委員会」発足（12月21日）



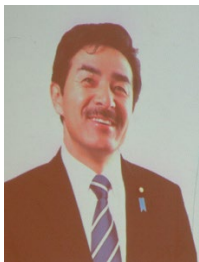
平成9年に市の指定文化財に指定された山門。その2階にある天井画（江戸幕府御用絵師・板谷桂舟作）が3年の修復を終え、山門に設置する前に池田記念美術館で展示する。実行委員長に岡村教育長。

展示期間は4月22日～5月28日。講演会（4月29日）も開催。

●憲法改正講演会

＜12月11日ハイブ長岡にて、講師はケント・ギルバード氏＞

世界は強い日本を望んでいる。日本を取り戻す憲法改正を。憲法の前文「平和を愛する・・・」と9条2項「陸空海軍その他の戦力は・・・」とお花畑のような平和憲法では日本を守れない。それが、ロシアのウクライナ侵攻で証明された。中国、ロシア、北朝鮮が攻めてきたとき、今の憲法では対処できない・・・。一言一言 納得の2時間であった。



＜1月21日アオーレ長岡にて、講師・ひげの佐藤正久参議院議員＞

自衛官として国連PKO初代隊長として戦地に行ったヒゲの隊長が「今、迫りくる危機にいかにか立ち向かうか！」とウクライナの映像を写しながら話す1時間半はあっという間に過ぎた。

日本国憲法に自衛隊を明記しなければ、自衛隊員は浮かばれない。

今年「うさぎ年」兎は、温厚で穏やかであるから「家内安全」。そして、その跳ねる姿から「飛躍」の年です。
今年も宜しく
お願い申し上げます

編集後記

●裸押合大祭3月4日ほぼ通常通りに！

